

AUCTION
START

SELL

出品・値段・入金・発送の面倒を一気に解決！

ツールでラクする ヤフオク&アマゾン出品

以前なら捨ててしまうしかなかった身の回りにある不要品や、押し入れに眠っている中古品などが、ネットオークションやマーケットプレイスを活用すれば簡単に処分でき、しかも小遣いも手に入る。しかし、出品をするには商品の撮影をしたり、詳細な説明文を書いたり、落札者とこまめに連絡を取って商品を発送したり……、面倒な作業がたくさんある。このため、商品を出品するのが億劫になりがちだ。そこで、便利なツールやちょっとしたテクニックを使って面倒な作業や手続きをラクにし、ジャンジャン出品する方法を紹介しよう。

著者：芦沢 渉

面倒な作業手順や手数料を徹底比較

出品するならヤフーとアマゾンのどちらが有利？

「物」を売るならネットが常識

インターネットを利用した個人間売買と言うと、ヤフーオークションが真っ先に思い浮かぶが、最近ではAmazonマーケットプレイスでの取り引きも活発になっている。まずは両者のサービスの違いを再認識し、それぞれの利点と欠点を押さえておこう。

今やヤフーオークションにはありとあらゆる商品が出品されている。ネットのショッピングモールで販売されているものと変わらない新品同様な商品がオークションでは安く出品されていることも珍しくない。出品者にとっては家庭にある不要品を処分でき、ときにはそんな品物が思わぬ高値で売れてしまうことがあるのも醍醐味だ。このため、オークションはヤフーで一番の人気コンテンツであると同時に、同社の稼ぎ頭にもなっている。

一方、ネットでの書籍販売からスタートしたアマゾンも、今では音楽CDやDVDをはじめ、電化製品や家庭用品まで取り扱う総合ネット通販業者となった。豊富な品数に加えて、1,500円以上の購入で送料を無料としたり、一定額以上の商品を購入するとギフト券で還元したりと、徹底

したサービスに特徴がある。

そして、2002年11月からは個人や法人による商品販売を仲介して手数料を得る「Amazonマーケットプレイス」を開始した。個人でも法人でも手軽に商品を出品できるため人気が高い。

ヤフーもアマゾンも人気の背景には、リサイクルショップなどにわざわざ出向かずにインターネットを通じて誰でも出品できる点や、そうした中古店の店舗に売るよりも高く売ることが多い点などが挙げられる。

ヤフーオークションやAmazonマーケットプレイスのような個人や法人が商品を販売するインターネット上の「場」を提供するサービスでは、商品を買って在庫を抱えるというリスクがない。このため、大量の売買件数を扱えば1件あたりはわずかな手数料を取るだけで商売が成り立つ。どちらも手数料ビジネスの1つだが、その内容は大きく異なっている。次に両者のサービスの違いを比較してみよう。

フルサービスとセルフサービスの差

ガソリンスタンドにたとえると、Amazonマーケットプレイスは給油はもちろん、窓

ふきやたばこの吸い殻捨てからタイヤの空気圧チェック、おつりの受け渡しまで、すべてをスタンドの店員が行ってくれるフルサービス店と言える。他方のヤフーオークションは、給油から支払いまでのすべての作業を客みずから行うセルフサービス店といったところだ。

ガソリンスタンドと同様に、フルサービスを提供するAmazonマーケットプレイスは手数料が高く、すべてを自分で行うヤフーオークションでは手数料が安い。

実際に商品をヤフーオークションで売ったことがある人ならば、商品の出品は意外と手間が掛かる作業だということを知っているはずだ。セルフサービスのヤフーオークションでは、商品を出品する際には商品画像をいくつか撮影し、説明文を詳細に書かなければならない。

また、商品が落札されるとヤフーからは落札者のメールアドレスが通知されるだけなので、出品者は落札者にメールで連絡を取らなければならない。そして、発送や代金の支払い方法などを連絡し合い、代金の入金が確認できたところでようやく商品を発送する。このようにすべての手続きを自分でしなければならない。

出品料ならヤフーオークションがお得！

項目	ヤフーオークション	Amazon マーケットプレイス
URL	http://auctions.yahoo.co.jp/	http://www.amazon.co.jp/marketplace/
月額費用	294円	無料(プロマーチャントの場合は月額4,900円)
出品料	10.5円(一部のカテゴリでは525円)	購入された場合に100円(プロマーチャントの場合は無料)
落札手数料	落札価格の3.15%	出品価格の15%
支払い方法	銀行、郵便口座、代引、クレジットカードなど、出品者が指定可能	クレジットカード
代金受け取り方法	落札者から直接受け取る(エクスクローサービスを利用しない場合) ^{*1}	アマゾンが請求を代行する
価格	入札者が購入価格を決定する(スタート価格は出品者が決定する)	出品者が販売価格を決定する
出品できる商品	偽ブランド、コピー商品、動物、武器など、ヤフーオークションで出品を禁止されているもの以外の商品(ほとんどの商品が出品可能)	アマゾンのウェブサイトに登録されている書籍、ビデオ、DVD、ゲーム、家電品などの商品のみ
発送方法	基本的には購入者が決定する。ただし、出品時に出品者が発送方法を指定することも可能	出品者が決定(おもに定形外郵便、書籍小包、メール便を使用)
評価	出品者、落札者の双方がお互いの取り引きを評価する	購入者のみ出品者の評価をする
商品説明	出品者が商品内容を細かく記載する	商品内容はアマゾンが用意(出品者はコンディションのみを記入)
出品期間	最長7日(3回まで自動再出品可能)	最長60日(プロマーチャントは制限なし) ^{*2}
商品説明の文字制限	基本的に制限なし(HTMLタグを使用して表や装飾もできる)	コメントは66文字以内
商品写真	掲載可能(画像は3枚まで)	掲載不可(アマゾン側で商品写真を掲載)

*1: エクスクローサービスとは代金の支払いや商品の受け渡しを専門のサービス提供会社が代行するサービスで、仲介業者が入るぶん手数料は割高になるが、安全に取引ができるので高額商品の売買などに向いている。*2: プロマーチャントとは月間登録料4,900円を支払って大口取引者として登録することで、一括出品ツールの利用、手数料の割引、取引情報のダウンロードなどの特典がある。

基本的にヤフーは商品を出品する「場」と、入札によって購入者を決定する「システム」を提供しているだけなのだ。

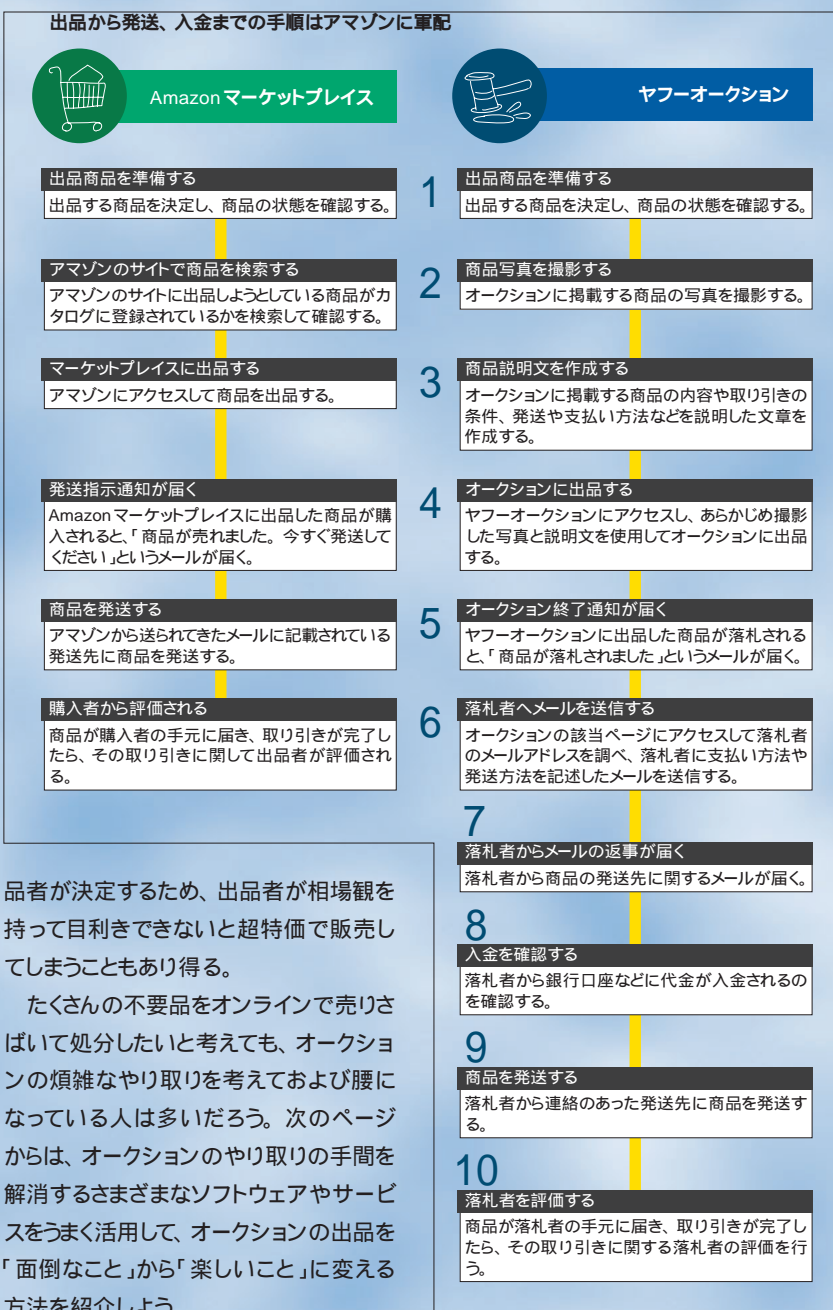
一方、フルサービスのAmazonマーケットプレイスでは、出品商品の説明文を書く必要はない。これは、マーケットプレイスではアマゾンのカatalogueがそのまま利用されるためだ。出品商品のコメント欄には、書籍ならば「新品同様」なのかそれとも「日焼けして色あせている」のかといった商品のコンディションを記述する程度で済む。

また、商品が売れたときは購入者との金銭の授受をすべてアマゾンが仲介するため、出品者と購入者が直接連絡を取り合うことはない。発送先もアマゾンから指示されるので、出品者は商品を発送するだけで済んでしまう。

商品価値の判断が分かれ目

両者の違いをサービス面で比較してみたが、もちろん違いはそれだけではない。ヤフーオークションは出品が禁止されている商品以外ならば、車であろうと土地であろうと自分の所有物であれば何でも出品できる。一方、Amazonマーケットプレイスでは書籍や音楽CD、DVD、テレビゲームなど、アマゾンの通販サイトに掲載されている商品以外は出品できない。

さらに、ヤフーオークションは入札制のため、出品者が「どうせ売れないだろう」と商品価値を見いだせなくても、落札者が値打ち物だと判断すれば思わぬ高額で落札される可能性がある。しかし、Amazonマーケットプレイスでは価格は出



品者が決定するため、出品者が相場観を持って目利きできないと超特価で販売してしまうこともあり得る。

たくさんの不要品をオンラインで売りさばいて処分したいと考えても、オークションの煩雑なやり取りを考えておよび腰になっている人は多いだろう。次のページからは、オークションのやり取りの手間を解消するさまざまなソフトウェアやサービスをうまく活用して、オークションの出品を「面倒なこと」から「楽しいこと」に変える方法を紹介しよう。

粗大ゴミに出す前にまず出品！

テレビやエアコン、冷蔵庫、洗濯機などをゴミとして処分すると「家電リサイクル法」により3,000～5,000円程度の処分料がかかる。ところが、ネットオークションを利用すれば処分料がかかるところか、買い取り手が現れる。古い冷蔵庫や洗濯機なんか誰も落札しないだろうと思いがちだが、安い価格でオークションに出品すると意外と売ってしまうものだ。たとえ落

札価格が10円であったとしても、捨てた場合に処分料を取られることを考えれば数千円の儲けだ。ただし、冷蔵庫のような大型商品は梱

包や発送のやり方に悩むことが多い。商品の説明文に「引き取りに来てくれる人に限定」と書くといい。

洗濯機(洗濯容量4.2kg)の処分事例

処分先	収入もしくは出費
ヤフーオークションに出品	5,500円(落札価格)
リサイクルショップに売却	1,000円(買い取り見積価格)
廃棄処分	2,520円(処分料のみ。収集や運搬費は別途数千円必要)

ヤフオークション編

人気の高い総合支援ツールの代表格 「AuctionExpert」で落札者とのやり取りが大幅軽減

アウトルックエクスプレスと連携

オークションに出品した商品が落札され、取り引きが無事終了するまでの一連のオークションの流れの中で、出品者が一番面倒だと感じるのは落札者とのやり取りだろう。これを大幅に軽減してくれるのが総合支援ソフトの「AuctionExpert」だ。数ある支援ソフトの中でも、機能性と使い勝手のよさから人気が高い。

このソフトは代表的なメーカーのアウトルックエクスプレスと連携し、あらかじめ作成したひな形を使って取り引きの案内メールを送信したり、落札者から送られてくる発送先の住所や名前といった情報を自動で取り込んだりする。

利用するには、ウィンドウズの規定のメ

ールソフトとしてアウトルックエクスプレスを設定する必要がある。普段からアウトルックエクスプレスを使っているなら設定の必要はないが、Becky!など他のメールソフトを利用している人はインターネットエクスプローラの「インターネットオプション」の項目でアウトルックエクスプレスを規定のメールソフトとして設定しておこう。

ただし、この設定を行うとオークションとは関係のないメールもAuctionExpertを利用してしまいうため、いつものメールアドレスとは別に、オークション専用のメールアドレスを用意することをおすすめする。

設定さえ完了してしまえば操作は難しく

AuctionExpert

URL http://www.geocities.jp/keboo_2000/AExpert/

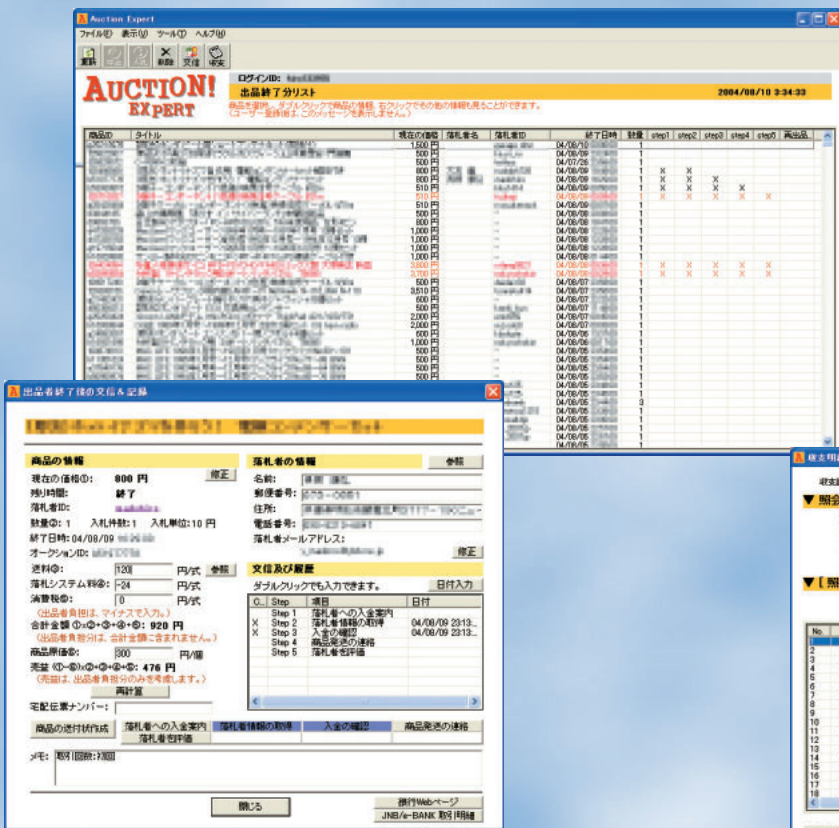
動作OS : Windows 98(SE)/Me/2000/XP

価格 : 1,000円(シェアウェア)

作者 : softcore777

ない。AuctionExpertを活用するには、ヤフオークションにログインし、出品商品や落札者のリスト、ウォッチリストなどの各リストデータを取り込むだけだ。それぞれのリスト画面は、キーボードのF1キーからF8キーまでに割り当てられているので、必要なオークションページに素早く切り替えられ、落札者とのやり取りもスムーズに行えるだろう。

このほか、週単位や月単位の売り上げが集計できる収支明細機能などもある。



出品終了分リスト

商品タイトルや落札価格、落札者ID、終了日時などを一覧表示する。各落札者との取り引きの進捗状況をチェックできるので、落札者と連絡を行ったか、入金を確認したか、発送を行ったか、評価を記入したかなどが一目瞭然だ。商品を送送し、評価まですべてチェックが終了すると文字が赤色になる。

出品終了分の取引・記録

落札者との個別のやり取りはこの画面だけで完結する。メールで送られてきた落札者の住所を取り込み、送付状を作成することも可能だ。出品した商品の原価を入力すれば、落札手数料や送料を差し引いた利益が表示される。また、メモ欄には落札者との取り引き回数が表示される。過去に取り引きがある落札者の情報は、右上の「参照」ボタンをクリックすると過去のデータから自動で名前や住所を取り込める。

収支明細

「出品終了分の取引・記録」のウィンドウで商品原価や送料などを入力しておくと、収支明細画面で週単位や月単位の売り上げが集計できる。売り上げのトータルから商品原価や手数料を差し引いた損益も表示される。



取り付きにくいが一度使えば手放せない？

大量に出品したいなら「VisualAuction」で決まり

商品説明を記入する時間が短縮

「VisualAuction」はオークションの商品説明文の作成から一括出品、落札後の取り引き管理までを行える統合型のオークション支援ソフトだ。多機能なゆえに操作がわかりづらいのだが、一度使い方を覚えてしまえば手放せなくなることに請け合いた。

ヤフーオークションでは、出品する際に記入する商品説明文をHTMLで書くなくてはならない。このため、出品フォームの商品説明欄にテキスト文章を記入しただけでは、改行さえも入らない非常に読みにくい説明文となってしまう。

このソフトを使えば、HTMLタグ入りの読みやすい説明文を簡単に作成できる。また、送料や代金の支払い方法などのよ

うに毎回記入する文章はひな形として挿入できるので、商品説明を記入する時間も短縮できるだろう。あらかじめ説明文の記入と商品写真を撮影しておけば、指定時間にまとめて出品する機能もある。

この機能は、1か月に1度ぐらい平日の昼間に行われるヤフーオークションの「出品手数料無料キャンペーン」の際に利用すれば効果的だ。通常1点出品するごとにかかる10.5円の手数料がいくつ出品しても無料となるので、このときを狙えばかなりの経費節減になるだろう。

また、商品の落札後は自動で商品名や落札者のメールアドレスをヤフーオークションのページから一括で取り込める。これを元に、落札者へメールを作成し、返信

VisualAuction

URL <http://www.cloud-soft.net/>

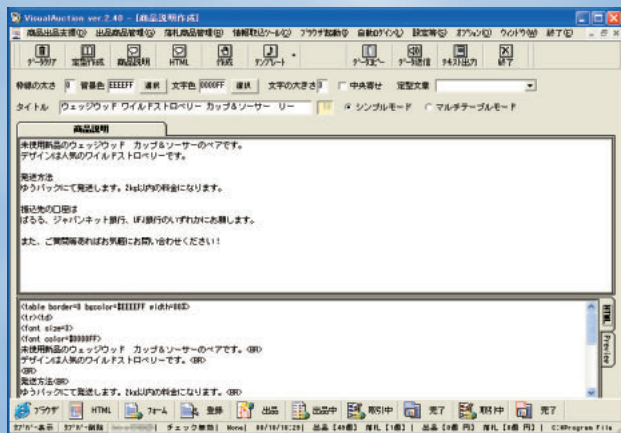
動作OS : Windows 95/98(SE)/Me/NT/2000/XP

価格 : 無料(寄付歓迎)

作者 : Cloud

されたメールから住所や氏名などを取り込めば、発送先のラベル印刷までがスムーズに行える。取り引きの進捗状況が一目でわかるので、並行して多くの商品を取り引きする際のミスも防げるだろう。

そのほか、商品ページの画像を保存する機能やブラックリスト登録機能、自動ログイン機能など、かゆいところに手が届く機能が満載だ。操作性が独特のため賛否両論のあるソフトだが、機能は群を抜いている。

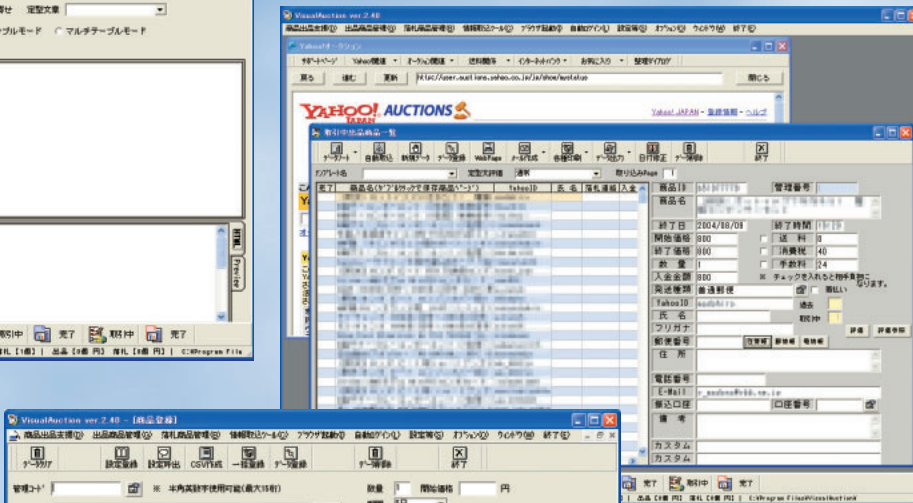


商品説明の作成画面

ホームページ作成ソフトに似たイメージで操作する「説明文作成」画面。テンプレートを使用した定型文を挿入したりできるため、説明文を書く時間を短縮できる。作成したHTMLソースはオークション出品ページの入力フォームにコピー＆ペーストすればいい。

商品登録画面

ヤフーオークションの出品ページにアクセスせずに、VisualAuctionから商品の登録が可能。出品期間や自動再出品回数、オークション終了時間などをあらかじめ設定できるため、ヤフーオークションの出品ページで出品するときのように、プルダウンメニューから毎回設定を修正するという面倒な作業から解放される。



取り引き中の商品画面

落札された商品の一覧は、自動で取り込める。取り込んだデータを元に、落札者へのメールを作成し、返信されたメールから落札者の住所や氏名などを取り込める。一覧データから、以前に取り引きをしたことがある人かどうかもわかるので、何回も取り引きをしたことのある人にはメールの挨拶文を変更して送るなどといった対応も可能だ。

発送方法によって使い分けなければダメ

メールのひな形を作って連絡の手間を省け

落札者と何度もメールでやり取りをするのは互いに面倒だと感じるし、相手のレスポンスを待たなければならないため取り引きが円滑に終了するまでに時間がかかってしまう。なるべくメールのやり取りを行わないで済むように必要な件は一度にすべて書いてしまうのがコツだ。

すでに送料(86ページ参照)が決まっている商品の場合、出品者が落札者へメールを送る回数は、一般的にオー

クション終了時、入金確認時、発送終了時の3回だが、ゆうパックや宅配便のように送料が配達地域によって異なる商品の場合は、「ひな形1」のように相手に配達先を聞かなければならないのでメールのやり取りが4回必要になる。この場合でも、「ひな形2」のように送料着払いで発送してもよいかをメールで尋ねれば、やり取りが省略可能だ。落札者が送料着払いでも構わない場合はメールの送信は3回で済んでしまう。

なお、送料があらかじめわかっている商品の場合は「ひな形3」のようなメールを落札者に送り、入金を確認してすぐに商品を発送してしまえば、「ひな形4」のように入金確認のメールと商品発送のメールを一緒にしてしまうことができる。これならば、落札者とのメールのやり取りはたった2回だ。

このように、メールの書き方をちょっと工夫するだけで、落札者とのやり取りの回数が少なくて済んでしまう。

メールひな形1:オークション終了時に落札者に送るメール (送料が地域によって異なる場合1)

様(落札直後は名前がわからないのでヤフーIDを記入)

はじめまして。ヤフーオークションに「
yamada_taro****」を出品致しました
ありがとうございます。

早速ですが、商品の受け渡しにつきましてご連絡を申し上げます。
商品の発送は、郵便局のゆうパックにてお送りしたいと思います。ゆうパックは配達地域により送料が異なりますので、お手数ですが商品をお送りする先のご住所、お名前、電話番号をご連絡頂けますでしょうか。折り返し、代金と送料の合計金額とお振り込み先の口座をご連絡申し上げます。

また、代金引換郵便での発送やその他の発送方法にも対応させていただきますので、発送方法にご要望がありましたらお申し付けください。

よろしくお願いたします。

〒102-0075
東京都千代田区三番町20
山田太郎
電話：03-XXXX-XXXX
yamada_taro@****.ne.jp

送料が配達地域によって異なる商品の場合は、まず落札者に発送先を尋ね、その後送料と支払い方法を連絡しよう。また、当然のことだが、落札者が安心して取り引きできるように自分の住所や氏名などの連絡先情報はしっかり記入しよう。

メールひな形2:オークション終了時に落札者に送るメール (送料が地域によって異なる場合2)

早速ですが、商品の受け渡しにつきましてご連絡を申し上げます。
商品の発送は、郵便局のゆうパックの着払いにてお送りしたいと思います。発送方法がゆうパックの着払いであれば、落札代金のお支払いと、商品をお送りする先のご住所、お名前、電話番号をご連絡頂けますでしょうか。

また、送料元払いの発送もいたします。送料元払いの場合、ゆうパックは配達地域により送料が異なりますので、お手数ですが、お送りする先のご住所をご連絡頂けますでしょうか。折り返し代金と送料の合計金額をご連絡申し上げますので、その後代金のお支払いをお願い致します。また、代金引換郵便の発送やその他の発送方法にも対応させていただきますので、発送方法にご要望がありましたらお申し付けください。

代金のお支払いは、下記の銀行口座もしくは郵便貯金口座へお願いします。また、Yahoo!ペイメントでお支払い頂いても結構です。

ジャパンネット銀行 本店営業部
普通口座 *****
口座名義 ヤマダタロウ

郵便貯金(ばるる)
口座番号 10***-*****
口座名義 ヤマダタロウ

よろしくお願いたします。

送料が配達地域によって異なる商品の場合は、このひな形のように送料着払いの発送でもよいかを落札者に尋ね、落札者が了承すれば、メールをやり取りする回数を省略できる。

メールひな形3:オークション終了時に落札者に送るメール (送料が全国一律の場合)

早速ですが、商品の受け渡しにつきましてご連絡を申し上げます。
まずはお手数ですが、メールにてお支払い方法と、商品をお送りする先のご住所、お名前、電話番号のご連絡をお願いします。

商品は、「
(発送方法を記入)」にて発送致します。
送料は 円になりますので、オークションの落札価格と送料を合計致しまして、 円のお支払いをお願い致します。

代金のお支払いは、下記の銀行口座もしくは郵便貯金口座へお願いします。また、Yahoo!ペイメントでお支払い頂いても結構です。

ジャパンネット銀行 本店営業部
普通口座 *****
口座名義 ヤマダタロウ

郵便貯金(ばるる)
口座番号 10***-*****
口座名義 ヤマダタロウ

よろしくお願いたします。

送料があらかじめわかっている商品であれば、支払い方法を明記すればメールのやり取りを簡略化できる。

メールひな形4:発送後に落札者に送るメール

様

ヤフーオークションに「
」を出品しました山田太郎です。

月 日に 様からのご入金を確認致しました。
お振り込み大変ありがとうございます。

商品は、月 日にゆうパックにて発送致しました。
伝票番号は です。
商品の到着は 月 日の予定です。

スムーズなお取引をありがとうございました。
ヤフーオークションの評価を記入致しますので、商品が到着しましたら私の評価を記入して頂けますようよろしくお願いいたします。

〒102-0075
東京都千代田区三番町20
山田太郎
電話：03-XXXX-XXXX
yamada_taro@****.ne.jp

入金を確認後にすぐ商品を発送できるならば、入金確認のメールと商品発送のメールを一緒にしてしまえばメールを出す回数を省略できる。発送が次の日になってしまうようなときは、入金確認のメールを先に送り、翌日商品を発送したら商品発送の連絡メールを送ろう。商品発送のメールを送ったらすぐに落札者の評価を記入してしまえば、評価を記入し忘れることもない。

*このひな形は以下のURLからダウンロードが可能。
URL <http://internet.impress.co.jp/im/200410sp2/>



写真で売れるかどうかが決まることもある

「AuctionPhoto」で商品画像3枚までの壁を破る

特に高額商品では不可欠

ヤフーオークションの出品ページでは商品画像を3枚まで表示できるが、3枚だけでは商品の詳細な部分までは表示できない。特に高額商品の場合は文章だけの説明ではトラブルになることもあるので、画像はなるべく多く掲載したい。

こんなときは、出品ページ用に作られた画像連結ソフト「AuctionPhoto」を使えば簡単に問題が解決できる。このソフトはJPEGやBMP、PNG形式で保存された複数の画像を縦一列に連結し、1枚のJPEG画像として保存する。

フォトタッチソフトで連結させるよりも非常に簡単だ。連結したい画像をウィンドウ内にドラッグし、「確認」ボタンを押すだけ。JPEGの圧縮率や連結後の画像のピ

クセルサイズなどの設定はスライドバーで行う。連結して1枚になった画像ファイルをオークションの出品ページに掲載すれば、画像3枚分以上の画像を掲載できる。



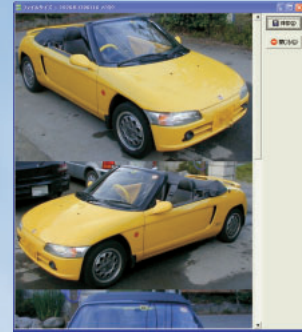
AuctionPhoto

URL <http://hp.vector.co.jp/authors/VA015734/>

対応OS : Windows 98/2000/XP

価格 : 無料(寄付歓迎)

作者 : Hiroki Takada



画像登録画面(左)とプレビュー画面(上)

連結したい画像をドラッグ&ドロップするだけ。2枚から4枚までの画像を1枚に連結できる。なお、連結は縦方向のみだ。画像の圧縮率や画像のサイズなどの調整もできる。確認ボタンでプレビューを表示。



オークションと金融機関を直結するスゴイ奴

「MoneyLook」で落札者からの入金状況を一目で把握する

ボタン一発で複数口座にアクセス

出品数が多くなれば落札者への連絡が多くなるが、それにつれて代金が入金されたかどうかの確認も面倒になる。いちいち銀行の店舗を訪れてはいられない。そこで、出品するならオンライン口座を利用するのは不可欠だ。しかも落札者の利便性を考えれば複数の金融機関に口座を持つほうがよい。

だが、そうするとオンラインでもやはり口座を管理するのが面倒になってくる。これを解消するには、ヤフーファイナンスで配布しているオンライン口座一元管理ソフト「MoneyLook with Yahoo! JAPAN」を利用すればいい。ヤフーIDを持っていればオンライン銀行口座の管理とヤフーオークションの出品管理がこのソフト1つで済んでしまう。

MoneyLookでは銀行や郵便貯金、証

券会社、カード会社などのオンライン口座を一括管理できる。最初の設定時に各口座のIDとパスワードを入力しておけば、次回の起動からはログインボタンをワンクリックするだけで各口座にログインできる(画面)。

商品を大量に出品しはじめると、個々の出品者とどこまで取り引きが進んだかをすべて頭の中だけで把握しておくのは困難だ。

オークション終了後、出品者と落札者間の手続きの大まかな流れは、落札者へのメール送信、落札者からの入金確認、商品の発送、取引終了後の評価の記入の4つがある。これに合わせて、MoneyLookで取り込んだオークションデータの表には「連絡」や「入金」「発送」「評価」の4つのチェックボックスがあるので、落札者との取り引き状況に応じて

MoneyLook with Yahoo! JAPAN

URL <http://biz.yahoo.co.jp/accountmanager/moneylook/web/>

対応OS : Windows 98(SE)/Me/2000/XP

価格 : 無料(ただし、Yahoo! JAPAN IDの取得が必要)

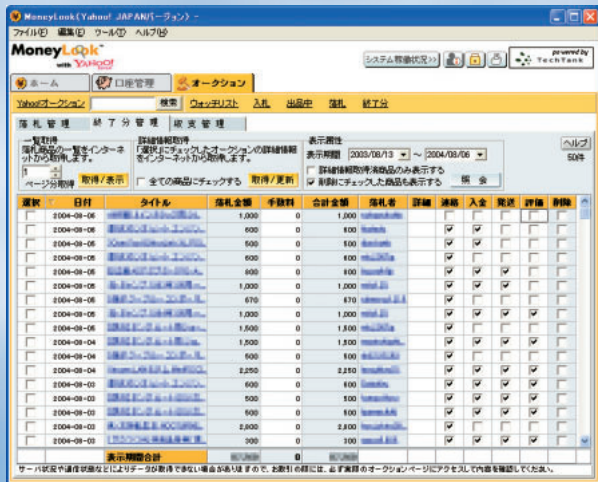
作者 : 株式会社テックタンク

このチェックボックスにチェックを順次つけていけば、複数の落札者との取り引きもスムーズにできる(画面)。

また、MoneyLookは取り引き管理だけでなく、落札金額や手数料、送料、メモなども記録しておく。

さらに、データは落札金額や落札日時、商品名順などで並べ替えられるので、高額で落札された商品をピックアップして次の出品に役立てることなどができるだろう。

画面 : 登録したオンライン口座へワンクリックでログイン可能。口座のIDやパスワードを入力する手間が省ける。



画面 : オークション終了後のメール送信や入金確認、商品発送、評価などの各状況をチェックボックスで簡単に管理可能。収支も自動で集計するので、売り上げの計算も不要だ。

今秋には料金体系の見直しも?!

落札者への商品発送は「ゆうパック」が最適!

ヤフーオークションの送料は落札者が負担するので、安価で確実に商品が落札者に届く配送方法を選びたい。また、出品時の商品説明文に発送方法別の送料を記述しておくことでオークションに安心して入札してもらえる。

配送方法としては下表を見てほし

い。封筒に入る程度の小物以外は、「ゆうパック」が「宅配便」を使うのが一般的だ。特に食器や電子機器のように発送時に梱包材を多用する商品は、箱のサイズの割には重量が軽い。こうした商品を同じ梱包で発送した場合、たいていはゆうパックの方が数十

円～数百円安く発送できる。また、『自宅までの集荷が無料で、荷物を10個発送すると1個無料で発送できる』ゆうパックシール、カードといった他にはないサービスもある。ただし、日本郵政公社は今秋にこの料金体系を見直すようだ。

配送方法	配送可能サイズ	料金体系	配送に適した商品	メリット	デメリット	送料	到着までの日数
定型郵便	定型サイズ(長辺14～23.5cm、短辺9～12cmの長方形で、厚さ1cm以内、重量50g以下)の封筒のみ	重量による料金体系(全国一律)	低額商品	安価に発送可能、配達確認不可、全国一律料金、郵便ポストへ投函可	補償なし、受取人のポストへ配達	比較的安い	比較的遅い
定形外郵便	重量4kg以下		定形郵便のサイズに収まらない低額商品				
冊子小包	3kg以下の冊子印刷物(CD、DVD等も含む)		書籍、雑誌、CD、DVD	定形外郵便よりさらに安価に配達可能、郵便ポストへ投函可	中身が印刷物であることがわかるように封筒の一部を開封する必要あり、補償なし、受取人のポストへ配達		
クロネコメール便	厚さ2cm以内、重量1kg以下、3辺の合計が70cm以下		ゲームソフト、書籍類、カレンダーなど	配達状況の確認が可能	全国一律料金、受取人のポストへ配達		
簡易書留	重量4kg以下		テレホンカード、商品券、金券等、軽量な高額商品、補償が必要な商品	5万円までの損害補償あり、配達状況確認可能、商品手渡し、全国一律料金	重量物の場合、宅配便やゆうパックより送料が高額		
エクスパック500	専用封筒(248mm x 340mm)以内に入る商品、30kg以下	500円(全国一律)	フルカラーカタログ、金属製品、ACアダプターなど、サイズの割に重量の重い商品	全国一律500円で配達可能、配達状況確認可能、商品手渡し	専用封筒に収まるサイズのみ		
ゆうパック(郵便局)	重量30kg以下、3辺の合計170cm以下	重量と配達地域による料金体系	日用品、PCパーツ、食器のようにかさばる割に重量が軽い商品、補償が必要な商品	重量で送料が決定するため、かさばる商品に最適、損害補償あり、配達状況確認可能、配達時間指定可能、商品手渡し、商品を10個発送すると1個無料で発送可能、自宅への集荷無料	配達地域により送料が異なる、重量によって12段階に送料が分かれており送料がわかりにくい		
宅配便	重量25kg以下、3辺の合計160cm以下(クロネコヤマトの場合)	サイズと重量のどちらか大きい方と配達地域による料金体系	雑誌や書籍のセット、缶ジュースのようなサイズの割に重量のある商品、高額商品、易損品、補償が必要な商品	コンビニエンスストアなどで24時間発送可能、損害補償あり、配達状況確認可能、配達時間指定可能、商品手渡し、取扱店へ持ち込みの場合100円引き	配達地域により送料が異なる、体積によって送料が計算されるためかさばる商品は送料が高額になる	比較的高い	比較的速い



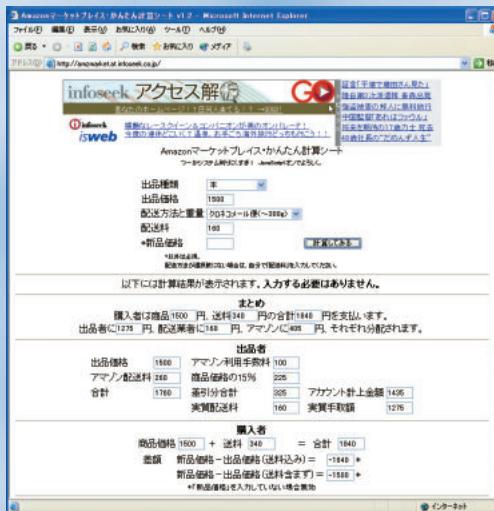
出品の手続きは簡単でもコスト計算が複雑

「Amazonマーケットプレイス・かんたん計算シート」で足を出さない

出品用アカウントを登録しよう

Amazonマーケットプレイスは、ヤフーオークションと比較すると手数料がかなり割高に感じる。しかし、出品する際はヤフーオークションのように商品画像を撮影したり落札者と連絡を取り合ったりといった手間がかからない。オークションに出品するのが面倒だと思っているのなら、Amazonマーケットプレイスに出品してみよう。

Amazonマーケットプレイスに商品を出品するには、クレジットカード決済の代行システム「Amazonペイメント」の登録が必要だ。これは、マーケットプレイスで商品を購入した人からアマゾンがクレジットカードで代金の支払いを代行する仕組みだ。クレジットカード番号や住所、電話番号、代金の振り込み先の銀行口座番号を入力するだけで出品用アカウントの登録が完了する。あとは商品を出品し、購入



Amazonマーケットプレイス・かんたん計算シート

URL <http://amzmarket.at.infoseek.co.jp/>

されるのを待つだけだ。

出品価格の計算が難しい

出品した商品が売れると、出品価格から利用手数料の100円と出品価格の

15%(エレクトロニクスは10%)相当額が販売手数料として差し引かれ、残りが出品者に支払われる。そして、商品ジャンルによって異なる配送料がアマゾンから出品者に支給されるため、結局売れた商品

配送方法と商品ごとに決まっている配送料に要注意

メール便がもっとも安いサイズによっては不可

アマゾンでの配送料は商品1点ごとにかかる。配送方法は出品者に一任されており、アマゾンが手数料を引いた残りの配送料を受け取る。しかし、その配送料は表1のとおり商品カテゴリーごとに決まっている。つまり、この金額内で配送しないと自己負担となり損をすることになるわけだ。

この配送料では、ゆうパックや宅配便のような補償の付いた(85ページ参照)送料の高い方法は難しい。よって、補償はないが安価に発送できる「定形外郵便」や「冊子小包」が「メール便」が選択肢になる。補償がなければ、万が一の商品不着などで、購入者ともめる不安はあるが、アマゾンでは代金の上限30万円までを保

証する制度があるので安心だ。

4つの配送方法を重さだけで見ると、メール便が一番安い(表2)。しかし、「厚さ2cm以下で重量が1kg以内」とサイズに制限がある。普通の音楽CDやDVDなどはほぼ間違いなくこの範囲内なので、メール便がいい。なお、信書便法によりメール便には手紙や納品書などの信書を入れてはいけないことになっている。

一方、厚さ2cm以上ある書籍などでは、印刷物や電磁的記録媒体(CDやDVDなど)のみが送れる冊子小包が最適だ。ただし、中身が該当する商品であることがわかるように封筒の一部を開封して中身が見えるようにしておかなければならない。このため、商品が汚損することもあるので、透明なビニール袋などで商品を包んでから封筒に入れたい。

表1: 決められている配送料の違い

カテゴリー	アマゾンから出品者に支払われる配送料	購入者がアマゾンに支払う配送料	差額(アマゾンの手数料)
書籍	260円	340円	80円
CD、DVD、ゲームソフト、PCソフト	200円	340円	30円
ビデオ	350円	380円	180円
エレクトロニクス、ホーム&キッチン製品	400円	500円	100円

の手取り額がいくらになるのかがわかりづらい。

送料は、購入者から実費を請求するのではなく、アマゾンから支給された送料だけで賄わなければならない。出品ジャンルによって金額は異なるが、文庫本や新書、音楽CDなどであれば支給される送料で済む。

しかし、ハードカバーの分厚い書籍やパッケージの大きいゲームソフト、ツール

パッケージのDVD、初回限定版の豪華装丁のCD、電化製品などを出品した場合には、アマゾンから支給された送料だけでは不足することがほとんどだ。もちろん、送料が不足しているからといって購入者に不足分を請求したり、送料を着払いにしたりすることはできない。

このため、最初から送料が不足すると想定されるときはあらかじめ不足する分の送料を見積もり、出品価格に加算して

おかなければ損をする。商品を出品するたびにこの計算をしていたのではきわめて面倒だ。

そこで、「Amazonマーケットプレイス・かんたん計算シート」^{URL}のウェブページを使おう。出品する商品ジャンル、出品価格、使用する配送手段の3項目を入力するだけで、Amazonマーケットプレイスへ支払う手数料や販売手数料、支給される送料などを計算してくれる。

Amazonマーケットプレイス編



他者の変動を読んで価格を修正せよ
「マーケットプレイス最安値チェッカー」で売れ残りはなし

安価な商品から売れていく

レアな商品であればわざわざ価格を下げずとも高値で販売できる。その逆に、ミリオンセラーの書籍や音楽CDなどは所有者が多いため、出品される点数も多

くなる。当然ながら、同じ商品が何点も出品されていると、購入者は価格の安い出品者から商品を購入する。

そのため、出品した商品を早く売りたいのであれば、最安値を維持しなければならない。つまり出品した商品の価格を常に確認しなければならないのだ。

しかし、各商品の出品ページにアクセスして価格を確認するのはおっくうな作業だ。もちろん、他の出品者が最安値を付けていたら価格を修正しなければならない。多数出品していればなおさらだ。

この面倒な価格チェックを自動で行うのが「マーケットプレイス最安値チェッカー」^{URL}だ。このソフトを使えば、面倒な最安値チェックを自動化でき、さらに価格を一括訂正することもできる。

プロマーチャントの登録が必要

「マーケットプレイス最安値チェッカー」

マーケットプレイス最安値チェッカー

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA039336/>

対応OS : Windows 2000/XP

価格 : 7,980円(シェアウェア)

作者 : CyberAlchemist

「マーケットプレイス最安値チェッカー」を利用するには、アマゾンのプロマーチャント(大口出品者)に登録しなければならない。

プロマーチャントの登録料は月額4,900円と決して安くはないが、一般ユーザーと比較してさまざまな特典が用意されている。一番の特典は手数料の割引だ。出品した商品が購入されると通常は100円の成約手数料が取られるが、プロマーチャント登録者は無料になる。つまり、1か月に50点以上の商品を販売すれば、この手数料だけで元が取れてしまう。

さらに、プロマーチャントには大量出品に最適な「出品ツール」と「出品中の商

また、ゲームソフトやパッケージ入りビデオテープなどは厚みがあり、冊子小包に該当しないので、定形外郵便で発送しよう。

表2:送料比較表

郵便局		
定形郵便	25gまで	80円
	50gまで	90円
定形外郵便	50gまで	120円
	100gまで	140円
	150gまで	200円
	250gまで	240円
	500gまで	390円
	1kgまで	580円
冊子小包	2kgまで	850円
	4kgまで	1,150円
	150gまで	180円
	250gまで	210円
	500gまで	290円
メール便	1kgまで	340円
	2kgまで	450円
	4kgまで	590円
	メール便	
クロネコメール便	50gまで	80円
	100gまで	110円
	300gまで	160円
	600gまで	210円
	1kgまで	310円



「マーケットプレイス最安値チェッカー」の動作画面。一番右の欄の「状態」部分で自分の出品商品が最安値かどうかを確認できる。価格を修正後、Amazonマーケットプレイスの「出品ツール」で使える形式にエクスポートも可能だ。

品レポート」が用意されている。マーケットプレイス最安値チェッカーは、この「出品中の商品レポート」を活用して出品価格を修正する。

操作方法は非常に簡単で、作成した「出品中の商品レポート」をこのソフトで

読み込み、「チェック開始」を選択するだけだ。自動チェックの終了後、一番右の「状態」のセルが「 」と表示されている商品は、自分の出品価格が最安値であることを表し、「 」となっていれば他の出品者が最安値で出品していることを意味

する。

この結果を見ながら出品価格を見直し、修正後の出品用ファイルを作成する。そして、このファイルをAmazonマーケットプレイスにアップロードするだけで複数の商品価格をまとめて修正できる。



「マーケットプレイス最安値チェッカー」を利用するには、プロマーチャントに登録しておかなければならない。登録すればCSV形式で一括登録できる出品ツールを利用できたり、各種レポートを作成したりもできるのでそれだけでも出品効率がアップする。

マーケットプレイス最安値チェッカーは、プロマーチャント用にアマゾンが提供する「出品中の商品レポート」を利用して商品リストを取り込む。



あの中古ブックセンターやリサイクルショップも使っている

数万点の出品や管理ができるプロ御用達の公認ツール

ビジネスとして数万点以上の商品をアマゾンに出品できるツールがある。出品の簡素化を目的としたシステム「MPIM」(Market Place Inventory Management system)と、受注管理を目的としたシステム「MPOM」(Market Place Order Management system)だ [URL01](http://www.book-center.co.jp/)。

Amazon Web Servicesを実装しており、この2つのシステムを組み合わせれば、自分が持っている商品の在庫(店舗で販売している商品など)管理から出品、最適な販売価格の決定、購入者へのメール連絡、商品発送の宛名印刷(ヤマト運輸と協力して、宅配便の発送番号が付与される)までを、ほぼ自動で処理できる。最速で24時間以内に商品が購入者の手元に届く。

このシステムを開発・販売している

のは、東京都八王子市を中心に店舗を構えて中古書籍やCD、古着、雑貨などを販売している「ブックセンターいとう」 [URL02](http://www.book-center.co.jp/) で、このシステムの利用をアマゾンから認められている。

すでに数十社の有名ブックセンターやリサイクルショップがこのシステムを使ってAmazonマーケットプレイスへ大量出品している。

ウィンドウズXPのPCで動作する。利用料金は月額5万円とアマゾンでの売り上げの4%と高めだが、ビジネスで使うなら十分にその価値はある。

[URL01 http://www.book-center.co.jp/system_manual/](http://www.book-center.co.jp/system_manual/)

[URL02 http://www.book-center.co.jp/](http://www.book-center.co.jp/)



MPIMの入力処理フォームの画面。左側は、アマゾンのデータを表示する部分で、新品価格とアマゾンでの販売価格が表示される。画面下部は、マーケットプレイスでの出品状況が表示され、右側がデータ作成の入力フォームだ。

さらに便利編

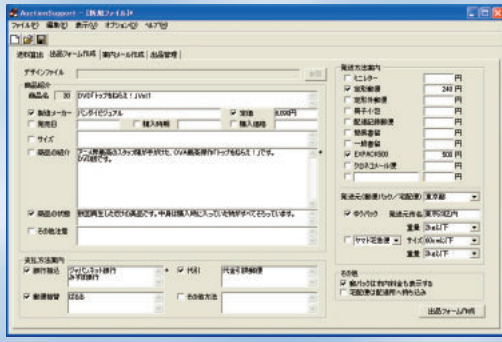
ニーズから生まれたかゆいところに手が届くツール群 使わなきゃ損する！ まだまだある支援ソフト



オークション総合支援

AuctionSupport (フリーソフト)

URL <http://www.ioqi.net/as/>



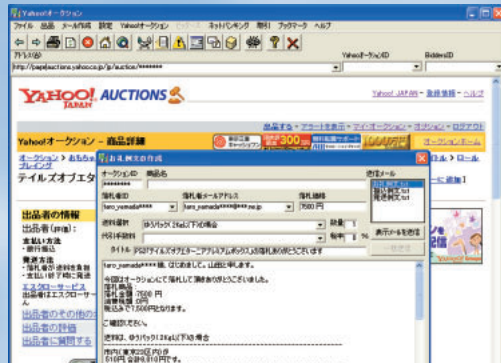
オークションに出品する際の説明文作成を支援するソフト。必要事項を順次入力し、最後にフォーム作成ボタンを押せば説明文をHTMLソースに変換してくれる。また、オークション終了後に落札者へ送信するメールを作成する機能や出品管理機能も備えている。



メール作成・送信支援

Auction楽々 (フリーソフト)

URL <http://hp.vector.co.jp/authors/VA033630/>



ヤフーオークションで落札された商品の情報を取得し、出品者が落札者に送る落札確認メールを作成して送信するソフト。メールのひな形を使い、ほぼ自動でメールを作成できる。また、送料のテンプレートもあらかじめ用意されている。



出品情報検索

AuctionExplorer! (シェアウェア)

URL <http://homepage3.nifty.com/hayazo/>



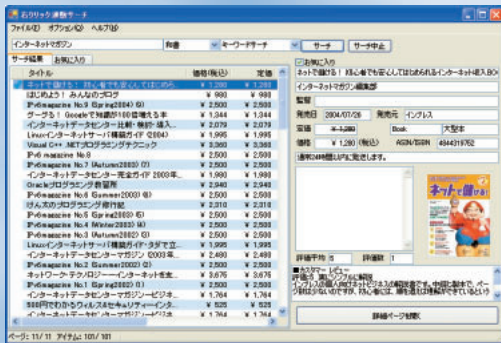
ヤフーオークションに出品されている商品の中から、目的の商品を検索することを充実させたソフト。除外キーワードの指定やカテゴリと出品者の複合検索もできるうえ、巡回機能で指定の時間に情報を自動で取得することも可能。



商品情報検索

右クリック通販サーチ (フリーソフト)

URL <http://www3.plala.or.jp/aur/>



インターネットエクスプローラの右クリックメニューを使ってアマゾンの商品を検索できる。検索した商品はお気に入りに登録できるので、マーケットプレイスに出品中の商品をお気に入りに登録しておけば、最安値をチェックする際に役立つだろう。

便利なウェブサイト

オークション統計ページ(仮)

URL <http://www.aucfan.com/>

過去3か月分のオークション落札価格が調べられるサイト。カテゴリ別の落札率や売買された商品の価格帯といった統計情報も公開されている。

送料の虎

URL <http://www.shipping.jp/>

商品のサイズや重量、発送地、発送先を入力するだけで郵便や各宅配便業者の送料を一覧表示して比較できるサイト。これと連動したヤフーオークションの商品説明文の作成サービスもある。

オークション関連リンク集

URL <http://auction.gn.to/>

充実したリンク集があるほか、フォームに情報を入力するとHTMLの商品説明文を作成できる。ブラウザを利用するので、マッキントッシュユーザーも使える。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp